

叙勲受章おめでとうございます



▼旭日小綬章

増田 實氏(中3丁目)

氏は、幸手町議会議員、市議会議員として、町議会厚生委員会委員長、市議会副議長を務め、また、第3～5代幸手市長として、長年にわたり市の発展と振興に寄与されました。

▼瑞宝小綬章

岩崎 正人氏(上高野1丁目)

氏は、総務省の通信放送部門に勤務し、アナログ放送からデジタル放送への切替えや、遭難安全通信システム発展などの業務に従事し、長年にわたり通信の普及・促進に寄与されました。



▼瑞宝双光章

池尻 恒雄氏(大字幸手)

氏は、労働事務官、労働基準監督官として、労働行政に従事し、三鷹、中野、新宿労働基準監督署の各署長を歴任されるなど、長年にわたり働く人の安全と健康障害防止に寄与されました。

▼瑞宝双光章

中村 英敏氏(大字千塚)

氏は、警視庁の本部・警察署において、地域、機動隊、自動車警ら隊、交通管理などの職務に従事され、長年にわたり都民の安全・安心の確保に尽力されました。



人権それは愛

同和問題の解決のために

毎年12月4日から10日までは「人権尊重社会をめざす
県民運動強調週間」です。

国では、世界人権宣言が国際連合総会で採択された
1948年12月10日を記念して、毎年12月4日から10
日までを人権週間と定めています。

「同和問題の解決は国の責務であり、同時に国民的課題」と位置付けた同和对策審議会答申が出されて、今年で50年になります。

この答申を実現するための特別措置法により、生活環境改善などの面で一定の成果をあげましたが、一部には住宅購入などの際に同和地区を避けたり、差別につながる身元調査に肯定的な考えがあるなど、同和問題は今もなお存在し、解決したとは言えない状況です。

区の出身であることを理由に、結婚を反対されたり、就職や日常生活の上で様々な差別を受けたりする重大な社会問題です。

私たち一人ひとりがこの問題を決して避けておらず、家庭・学校・職場・地域などで話し合い、偏見を持たず、正しい認識を持つことが大切です。

50年の節目を迎え、引き続き、学び、考え、それぞれの立場で取り組みを続けていくことが、同和問題を始めとするさまざまな人権問題の解決につながるのではないのでしょうか。

「みんなで築こう 人権の世紀」 - 考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心 -

人権相談所開設のお知らせ

とき 12月10日(木)午前10時～午後3時
ところ 市役所第二庁舎2階第1会議室
相談担当者 人権擁護委員

- 内容
- ・虐待やいじめなどの子どもの人権
 - ・離婚などの家庭内のもめごと
 - ・騒音やいやがらせなどの近隣とのトラブル
 - ・同和問題
 - ・職場や家庭における男女差別などの相談など

この相談日のほか、市では毎月第2木曜日、さいたま地方法務局久喜支局(久喜市本町4丁目5番28号 ☎(21)0215)では毎週月・木曜日(午前9時～午後4時)にも、随時ご相談をお受けしていますのでご利用ください。

問合せ 人権推進課 ☎(43)1111 内線 162・FAX(44)0257

明るい選挙 啓発ポスター

明るく正しい選挙の大切さを伝える「明るい選挙啓発ポスター」の幸手市入選作品を紹介いたします(敬称略・50音順)。
問合せ 選挙管理委員会
☎(43)1111 内線 513・FAX(44)0485



鈴木 彩夏 (さくら小学校6年)



遠藤 楓也 (さくら小学校6年)



堂本 佳宏 (幸手小学校3年)



堂本 和生 (幸手小学校1年)



山内 和 (権現堂川小学校5年)

12月15日(火)～21日(月)に全応募作品を市役所本庁舎1階ロビーに展示します。